

平成 30 年 8 月 20 日
企 画 課

交通政策審議会気象分科会提言
「2030年の科学技術を見据えた気象業務のあり方」について

交通政策審議会気象分科会において、「2030年の科学技術を見据えた気象業務のあり方 ~ 災害が激甚化する国土、変革する社会において国民とともに前進する気象業務 ~」が提言としてとりまとめられました。

交通政策審議会気象分科会では、自然環境や社会環境の変化、先端技術の展望を踏まえ、気象庁のみならず様々な主体により営まれる気象業務が、今後さらなる発展を遂げ様々な社会的課題の解決に一層貢献していくため、今後10年程度を展望した気象業務のあり方について、本年1月の第24回気象分科会より審議してきました。

今般、提言がとりまとめられましたので、お知らせいたします。提言の概要、本文については、別添をご参照下さい。

(審議経過の概要)

第24回(平成30年1月10日)

- ・交通政策審議会気象分科会提言(平成27年7月29日)「『新たなステージ』に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方」フォローアップ
- ・2030年の科学技術を見据えた気象業務のあり方について

第25回(平成30年2月22日)

- ・2030年の科学技術を見据えた気象業務の方向性

第26回(平成30年4月24日)

- ・重点的に取り組むべき方策(気象業務に関わる技術開発)

第27回(平成30年7月2日)

- ・重点的に取り組むべき方策(気象情報・データの利活用促進)

第28回(平成30年8月1日)

- ・提言(案)

本件に関する問い合わせ先：総務部 企画課 担当 酒井、桑嶋
電話：03-3212-8341(内線2226,2216) FAX：03-3211-2032

交通政策審議会 気象分科会委員名簿

(委員)

いえだ ひとし
家田 仁

政策研究大学院大学 教授

にいの ひろし
新野 宏

東京大学大気海洋研究所 客員教授

やい てつお
屋井 鉄雄

東京工業大学副学長 環境・社会理工学院 教授

やがさき のりこ
矢ヶ崎 紀子

東洋大学国際観光学部 教授

(臨時委員)

こしづか のぼる
越塚 登

東京大学大学院情報学環 教授

すぎやま まさし
杉山 将

理化学研究所 革新知能統合研究センター長/
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授

たかやぶ ゆかり
高敷 縁

東京大学大気海洋研究所 教授

まつもと ひろし
松本 浩司

日本放送協会 解説主幹

やまもと かよこ
山本 佳世子

(株)日刊工業新聞社 論説委員

分科会長、分科会長代理
五十音順、敬称略